

# 第28回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年11月

応募者名：愛媛県西条市建設部都市計画整備課

事業の名称：街路喜多川朔日市線改良事業

実施都市名：愛媛県西条市

# 事業目的

本路線は市道西条神拝2号線（通称御殿前通り）から街路国道朔日市線（通称公園通り）を結ぶ東西の補助幹線道路である。当路線の北側には（主）壬生川新居浜野田線が位置し、東は四国縦貫自動車道、西は今治小松自動車道に連絡している。この幹線と並行する形で新設街路を整備して中心市街地のより良好な街区形成を図るものである。

# 事業概要

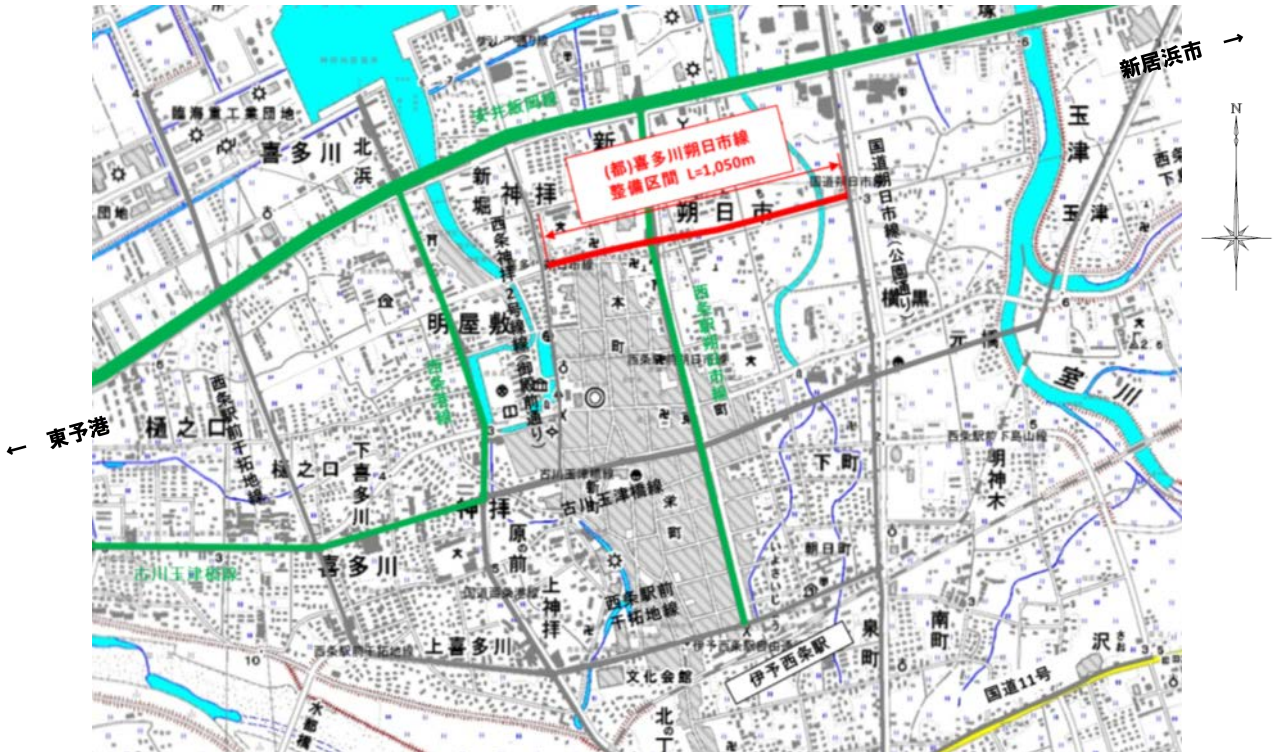
事業名称 : 街路喜多川朔日市線改良事業  
路線名 : 喜多川朔日市線  
事業箇所 : 西条市神拝乙20-5～朔日市251-1  
事業延長 : 1050m  
幅員 : 12m（2車線・両歩道）  
事業費 : 20億6千万  
事業期間 : 平成20年～平成26年

当路線は、（主）壬生川新居浜野田線沿線の臨海工業地帯の物流の効率化と渋滞緩和に寄与するため、主要幹線に並行して計画された都市計画街路である。

当該区間の整備により、中心市街地の避難路の確保及び密集市街地の延焼遮断効果による防災性の向上を図るとともに、沿線の小・中学校への通学路として歩行者や自転車の良好な安全空間を提供することを目標に整備したものである。

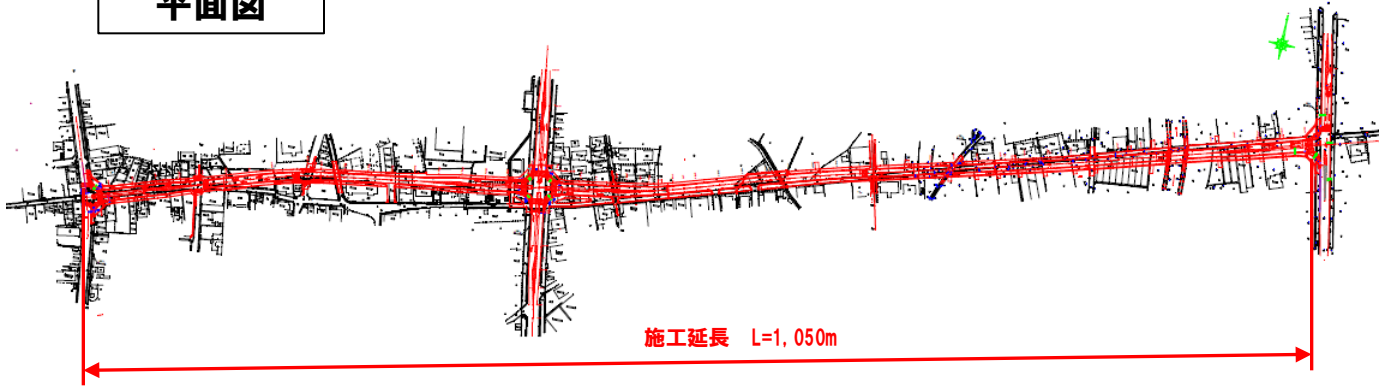
# 事業位置図

1 : 2,500

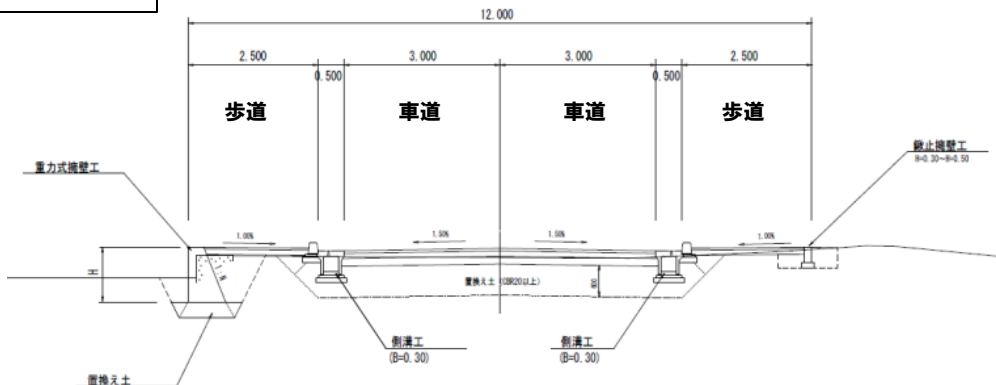


## 全体図 (平面図・側面図・横断図)

### 平面図



### 横断図



# 喜多川朔日市線の整備効果アピール資料



## ○事業概要

事業名：街路喜多川朔日市線改良事業  
路線名：喜多川朔日市線  
事業箇所：西条市神拝乙～朔日市  
事業延長：L=1050m  
幅員：W=12m  
総事業費：20億6千万  
事業期間：H20～H26年度

## ○交通量調査結果

供用前 916台/12h  
供用後 未調査  
交通量の推移

## 「整備効果」

主要道路の渋滞により狭隘な道路(約4m)に通勤車両が流入していたが、歩車道分離の道路が整備され、通学児童の安全性が確保された。

## 「その他の事業効果」

○住居系用途に隣接している当地域には、道路整備に併せて沿線に住宅やアパート、更に飲食店等が多く建築され、当市の新たな人口の受け皿として地域の活性化に繋がった。

- ・分譲住宅等 30戸・アパート 70戸(10棟)
- ・飲食店(カフェ)2店舗 ・ドラッグストア 1店舗

○一時避難地である小学校への避難路としての活用や中心市街地の延焼遮断道路効果が得られた。

(第4次地震防災緊急事業計画の消防活動用道路に認定：愛媛県)



# 事業前写真

平成19年3月撮影



平成19年3月撮影



平成19年3月撮影



平成19年3月撮影



# 事業後写真

平成27年11月撮影



平成27年11月撮影



平成27年11月撮影



平成27年11月撮影





# 路線全体の進捗状況

